



2018年4月23日

各位

株式会社 I H I
東京都江東区豊洲三丁目1番1号
代表取締役社長 満岡 次郎
(コード番号 7013)
問合せ先 取締役常務執行役員 山田 剛志
財務部長
TEL 03-6204-7065

営業外損失（持分法による投資損失）の計上及び 2018年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年3月期決算において、関連会社であるジャパン マリンユナイテッド株式会社（以下、「JMU」）の決算報告に基づき、営業外損失（持分法による投資損失）320億円を計上することとなりました。

これに伴い、本年2月1日に公表しました2018年3月期通期の連結業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、期末配当予想（1株当たり30円）の修正はありません。

記

1. 営業外損失（持分法による投資損失）の内容

当社の持分法適用関連会社であるJMUにおいて、主として当第4四半期の為替相場変動により、外貨建て工事の採算が悪化しました。加えて、現在の事業環境及び業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の相当部分を取り崩すこととなりました。

これに伴い、当社は、JMUの決算報告に基づき、2018年3月期の決算において、累計で持分法による投資損失320億円（本年2月1日適時開示の第3四半期決算計上額109億円を含む）を計上することとしました。

2. 2018年3月期 通期業績予想数値の修正 (2017年4月1日~2018年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2018年2月1日発表)	1,600,000	71,000	39,000	11,000	71.26円
今回修正予想 (B)	1,580,000	72,000	21,000	7,000	45.35円
増減額 (B-A)	△20,000	1,000	△18,000	△4,000	—
増減率 (%)	△1.3	1.4	△46.2	△36.4	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	1,486,332	47,389	22,011	5,247	33.98円

3. 通期業績予想修正の理由

売上高は、概ね前回発表予想どおりとなる見込みです。

損益面では、営業利益は、同日付の適時開示「関係会社株式評価損（個別決算）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、北米で遂行中のプロセスプラント案件の採算性の悪化があった一方で、各報告セグメントで改善し、概ね前回発表予想どおりとなる見込みです。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、持分法による投資損失について、上記1.の影響を織り込んだことなどにより、減益となる見込みです。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上